

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター「ゼノ」こぼと園		
○保護者評価実施期間	2025年12月2日		～ 2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年12月3日		～ 2026年1月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月2日		～ 2026年1月5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○障害や発達課題に関する専門性 ～聴覚障害の知識、機器の効果や取り扱い、その他発達に関わる課題など	○専門的な内容を、できるだけわかりやすく伝えるよう心掛ける。 ○実際の感覚を伴って理解できるよう、具体物(補聴機器、楽器など)なども用いて説明を行う。	○保育所等訪問支援の実施を通して、評価を得られた教材や資料、教示方法について、職員間で共有し、各園所での支援の際に活用できるようにする。
2	○子どもの状態の評価と、状態に合わせた取り組み ～聴能・コミュニケーション方法・発達に関する評価 評価に基づいた効果的な関りや活動設定の検討	○聴力検査、補聴機器の調整、発達検査を通して、客観的に状態を把握している。 ○療育の中で、子どもの聴能やコミュニケーションの状態を捉え、発達評価や必要な取り組みの検討につなげている。	○今後も引き続き、子どもの状態の評価の視点を高めるとともに、更に子どもの力を伸ばしていくために必要な手立てや取り組みについて検討していく。
3	○保護者との連携 ～保護者の意識、ねがい、生活状況などの把握	○日頃から親子療育や保護者懇談を通して、保護者の思いやねがい、悩みを把握し、必要な支援ができるように努めている。	○今後も引き続き保護者との信頼関係を築き、率直に悩みなどが出せて、思いが共有できる関係作りに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○支援頻度	○当園での子どもに対する直接療育を軸としているため、各園所に出向いての支援は、どうしても頻度が少なくなってしまう。	○保育所等訪問支援の必要性について、子どもや家庭の状態などを総合的に判断し、必要回数について年間を通して計画的に実施できるようにする。
2	○集団保育での取り組みの検討	○個の状態の評価をもとに取り組みについて検討するため、集団活動の中で実現可能な取り組みに繋がりにくい場合がある。	○引き続き連携先の先生方とも協議を重ねながら、取り組みが可能な点についてともに検討していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 「ゼノ」こぼと園
------	----------------------------

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 17

回収数 11

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1	1	6	登園日に他のグループと被り用具が無いことがある	○保育所等訪問支援では、連携先の施設に向いて行きます。訪問の際には、必要な資料や教材などを用意して伺っています。また環境については連携先の施設の状況に合わせて対応しています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	0	0	1	個室がある	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9	1	0	1	今の活動が何の目標のためなのかを、きちんと説明してくれる	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7	0	2	2	日程や頻度の説明はしてもらっている	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8	0	1	2	変更等があった時の予約がとりにくくて困ることがある	○必要な支援が行えるように、状況に応じて二人体制で行うなど、支援体制を工夫しています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2	1	0	その都度、話しをしながら支援を受けている	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	2	1	0	こちらの意向など、話を聞いてもらったうえで訪問支援をいただいている	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5	3	1	2	訪問先側が、保育所訪問支援の理解をあまりしていないと感じることが多いので、そこがかなり問題だと思う	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	2	支援後に、きちんと書面にしていたでいるので、分かりやすい	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	2	0	2	話しをきちんとしたうえで支援してもらっている	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9	1	0	1	行われている	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	2	ある	○今後も丁寧な説明に努めます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	2	1	0	ある	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7	2	1	1	こちらが聞いたことは話しができて、担当者からの研修指導や情報提供は少ない	○定期的に保護者教室を開催している他、必要に応じてグループ単位での学習会も実施しています。今後は、より広く参加いただける方法について検討します。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	8	3	0	0	必要な時にその都度できている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	0	0	子どもと一緒に登園した時に子どもも見ながら話しをするので、十分に話しができないことがある	○保護者の方と思いや目標を共有しながらも、療育に取り組んでいけるよう、今後も共感的な姿勢での対応と、丁寧な説明を行うことを心がけます。また、子どもの発達をとらえ、必要な支援について適切に選択し実践できるよう、研修などを通して知識技術を高めることに努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2	0	0	その都度話をしている	
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0	こちらの意向に対して、遅かれ早かれ、きちんと対応してくれている		

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1	0	0	その都度指導を受けている	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6	3	0	2	訪問先施設が理解をしているかどうか、微妙なところがあるので、よくわからない	○今後も、訪問時の直接の助言支援の他、連携後の書面での内容確認と、必要に応じて電話などでも連携対応ができるよう取り組みます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	2	0	1	行われているとは聞いたが、実施については疑問	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	3	0	0	支援内容は書面でもらっている	○今後も丁寧な説明に努めます。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2	0	1		○現在はお便りにて情報発信しています。今後、より周知しやすい方法について検討します。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	2	0	1	書面で間違いが時々あるので、疑問に思う部分が少しある	○個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、保護者の方にご心配をおかけしないように意識して取り組みます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5	2	1	3	緊急時の対応はわからない	
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1	はい	○基本的には訪問先で対応となるため、非常時には訪問先の体制や指示に従います。
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	1	0	0	子どもはまだ理解していないと思うのでわからない	○今後も引き続き、子ども達にも保護者の方にも満足いただけるよう、取り組み内容や実施説明について、内容を充実させるよう努めます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	3	0	0	一言では言いきれない	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			利用児童数		回収数	
社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 「ゼノ」こぼと園		2026年 3月 1日			17		10	
チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご意見		ご意見を踏まえた対応		
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	1	0	難聴について分かりやすく教えてもらえた。 本児の状態や補聴器の説明など、詳しい情報を共有してもらい、安心して園生活を送ることができている。 こぼと園での具体例や実際の様子を示しながら説明があり、保育所でも参考・活用できた。 聞こえにくさや困り感などの具体的な状況例を挙げてもらい、分かりやすかった。 保護者の思いを連携できたことで参考になった。		○評価をいただきありがとうございます。 今後も具体的な内容も取り入れて分かりやすく情報提供し、子どもたちにとってより良い環境・活動作りにつながるよう、支援方法などを工夫します。		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	0	0	具体的に伝えてくれるため、共感しやすく、相談しやすい雰囲気がある。 質問に対し、専門的な観点から的確に答えてもらえた。 難聴児の生活を見守る中での細やかな配慮について学ぶことができた。 聴力をグラフで示して説明してくれたことで、どの音が聞こえやすい・聞こえにくいかに具体的に理解でき、勉強になった。 音や声のトーンへの配慮を実践することができた。 詳しい書類や冊子を持参し、分かりやすく説明してくれた。 書類等の活用でクラス内での連携がとりやすくなった。 専門的な視点から子どもの姿を捉えて説明してもらえた。				
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	2	0	○良い点 丁寧に回答してもらえる。 一緒に考えながら回答してくれることで親身に対応してもらえる。 実際の子どもの様子を見ながら、配慮の方法などを具体的に知らせてもらえるので役立った。 現場での困りごとや難しさがある際、電話対応もしてくれ、的確なアドバイスやこまめな連携が助かった。 集団での配慮や今後年齢が上がる際に予想される状況についても教えてもらえた。 訪問時にいろいろな話を聞くことができてよかった。 ○課題・気になる点 あまり交流の機会がない（今後の継続的な交流の機会が欲しい）。		○こぼと園に求められている役割を意識し、当園の立場からの提案や情報提供ができるように取り組みます。 ○園内でも研修や協議をつみ重ね、子どもたちの状態をより的確に把握し、必要な支援の提案につなげることができるように努めます。 ○訪問時に限らず、連携が必要な時に随時対応できるよう、日頃からの情報共有や信頼関係作りに取り組みます。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	1	0	こぼと園での環境を知ることができ、学びになった。 難聴児への関わり方の知識が増え、対応の幅が広がった。 実際の困り感や必要な活動について、療育先での実例を教えてもらい、課題へのアプローチがしやすくなった。 A児の表現を待つことで、表現できることや伝えようとする姿が増え、お互いに共感する経験が増えている。 難聴児を初めて受け持つことへの不安があったが、関わり方のアドバイスを受けて安心して過ごせている。 家庭や母親の様子も教えてもらい、対応しやすくなった。 保育の中で気をつけるべき点を分かりやすく教えてもらえた。				
5 事業所からの支援に満足していますか。	10	0	0	数回にわたり連携できたことが参考になり、非常に役立った。 他園の先生方との交流ができ、満足している。 クラスでの普段の様子と療育先での様子の違いや共通点を共有しながら、具体的に分かりやすいアドバイスをもらえた。 育てたい力なども共有でき、子どもの育ちのためになる良い機会となった。 こぼと園で実践している簡単な手話（「おかたづけ」「おしまい」など）を職員間で連携し、A児とのやりとりでも活用している。 職員が動きを合わせて伝えることでA児にも伝わりやすくなっている。 A児自身から「遊ぶ」などの発信があり、その姿をクラス内で共有した。 こぼと園での支援の仕方も聞くことができ、良い学びになった。 定期的に連携し、その都度アドバイスをもらえて助かっている。 保育所での子どもの姿と一緒に遊びながら見取ることで、状況の共有ができた。		○今後も連携先の先生方とともに、子どもの育ちにつながる取り組みが行えるよう、引き続き、分かりやすい情報提供や具体的な事例に基づく検討などを心掛けて訪問支援を行います。		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応				
今回の機会によって、日頃の保育の中で不足していた配慮に気づくことができた。 本児が安心して園生活を送れるよう、連携の重要性を認識している。 今後も継続的な連携や関わりを希望している。 日頃の保育で十分な配慮ができていなかった点に気づいたので、今後の課題として改善していきたい。				わかりやすい情報提供、具体的な場面に即した支援などについて評価をいただき、ありがとうございます。 今回頂きましたご意見を踏まえて、今後以下の点について検討していきます。 1) 交流機会の拡大・定期化 訪問・オンライン・他園との交流会など、年間での連携枠を明確にする。 2) 資料・支援方法の整理 評価をいただいている説明資料や支援の工夫をコンパクトに整理し、共有しやすい形にする。 3) 三者連携とフォローアップ 保護者・保育所・こぼと園で「育てたい力」を共有し、実践後の振り返りを丁寧に行う。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 「ゼノ」こぼと園		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・準備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	難聴児の聴力図や難聴についての資料を用意している 補聴器の使い方の説明の資料を持参したり、その場で実践してもらった場を作っている	○今後も訪問先の先生方により分かりやすくお伝えできるよう、資料や教材を工夫します。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	担当ケース1名につき1～2名の担当で連携している	○必要に応じて、児発管や相談支援専門員も同席して連携を行います。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	訪問報告書を確認してもらいながら、修正している	○部門会議や日頃の連携を通して、意見を集約し、業務改善の方法について検討します。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者と直接確認している	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	直接話をする時間を作ってもらい、必要なことを共有するようにしている 朝会など、様々な分野の職員がいる中で、連携の内容を要約して伝える場をつくっている	○事業所評価アンケートの他、日頃のノートでのやりとりや保護者懇談を通して、保護者のニーズや意見を把握し、業務改善につなげるように努めます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	表現方法などを確認し、必要に応じて修正している	○第三者評価を実施し、客観的な評価も踏まえて改善が必要な点について対応を検討します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	大学やメーカー主催の研修会などに参加している 外部からスーパーバイザーを招いて、定期的に研修を行っている 自発的に書籍などからも情報を取り入れながら、実践に繋げている	○園内で企画した研修のほか、外部研修にも参加し、知識や技術を深めるように努めます。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	日々の記録も含めて考えを整理し、限られた時間で確認したいことをまとめて実施している	○子どもの実態把握、保護者からの聞き取り、連携先の担当者との話し合いなどを総合的に判断して、支援計画を立て、実践できるように努めています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当者間で、取り組みの際に、必要な内容を確認している	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	話の時間をとり、その内容を書面で確認するようにしている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	必要な関わり方を共有できていると感じる	○担当職員同士での話し合いを通して、計画立案と事後の評価を行います。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	実際の子どもの姿から状態を確認することを大切にしている 必要に応じて検査なども行って状態を把握している	○子どもの実際の行動の評価を中心にしますが、必要に応じてアセスメントツールの導入についても検討します。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	できるだけ保育現場に即した具体的な内容で支援できるように努力している	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	必要な関わり方を共有できていると感じる	○担当職員同士での話し合いを通して、計画立案と事後の評価を行います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	打ち合わせはしているが、日々の業務に追われじっくり話し合う時間が少なくなっている。 通常の勤務時間外でも時間をとって話し合う必要があると考える	○打ち合わせや終了後の振り返りを行っていますが、時間が十分に取れていない事もあるので、時間が確保できるよう計画性をもって取り組みます。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	打ち合わせはしているが、日々の業務に追われじっくり話し合う時間が少なくなっている。 時間外等をとって話し合う必要があるが、充分にできないこともある		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0	その都度目的を確認し、必要に応じて担当が直接関わり、やり方を示すこともしている	○事前に支援先の情報も確認し、各施設に合わせた対応ができるように努めます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0	できるだけ、細かく記録を残して、まとめている	○細かく記録をとっていますが、要点を絞り、分かりやすい記録として残せるように工夫します。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	子どもの様子や連携後の経過を聞くように心がけている	○訪問後には支援先の担当者や保護者との話し合いを通して、連携を振り返り、見直しの必要性についても検討するようにしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当者が参画しているが、出来ない場合は内容をしっかり伝えられている	○必要に応じて参加しています。今後できるだけ参加できるように努めます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	相談の都度、電話連携を実施している 保育所との連携日は保育指導課へ通知しているが、内容までは連携できていない	また、必要な支援について、当園からも意見を伝え支援体制全体の向上につながるように努めます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	直接引継ぎをしたり電話連携の形で実施している	○引き続き連携を実施します。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	研修で学ぶことを大切にしている 定期的に研修機会を設けている スーパーバイザーや医師などにも、状況に応じてタイムリーに相談できる体制を作っている	○園内で企画した研修のほか、外部研修にも参加し、知識や技術を深めるように努めます。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2	担当者を決めて参画している	○引き続き協議会に参加します。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	指導中、指導後の話し合いの時間をとる他、毎学期末にまとめた書面にして確認している	○今後も日々の療育や保護者懇談を通して、共通理解が図れるように努めます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	参加をすすめている 保護者教室や保護者間の情報交換の場をつくっている	○保護者教室を企画しています。 その他、保護者のニーズも把握しながら、必要な企画（家族参観など）を検討します。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に必ず行っている	○引き続き行います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	子どもを取り巻く環境で子ども理解が共有できることを大切にしたいと願い、話をすすめている 共有するために、必要に応じて給カードなど教材を紹介したり渡すことなども行っている	○今後もできるだけ支援先の担当者の方にわかりやすくお伝えできるように努めます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	話を大切にし、保護者に負担をかけないように、担当が教材を作って渡している	○保護者の方とも話し合う機会を持ち、意向を尊重できるようにしています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	対面で説明している	○今後も保護者の方に理解納得をいただけるように努めます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	毎回通園時に話をするほか、必要に応じて電話などでも相談をするようにしている	○登園時の保護者懇談の他、必要に応じて電話などでも対応できるようにします。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	個別指導が中心な中でもできるだけグループを編成して、保護者間でも交流しやすいシステムを作っている 兄弟児の交流は行っていない。保護者教室の保育や大きな行事などの際に顔を合わす程度になっている	○兄弟児の交流は、保護者教室での保育時などに限られています。今後、保護者からの要望などを踏まえて交流の機会を設けるかどうか検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	時間を作って対応している	○できるだけ迅速な対応を心がけていますが、不十分な点もあるため、今後も職員間での情報共有を図りながら、速やかに相談対応できるように努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	必要な情報をタイミングを逃さず、提供するように工夫している 定期的にごばと園だよりを発行している	○より分かりやすく情報発信ができるように、引き続きごばと園だよりや他の手段の活用についても検討します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	自覚をしっかりとつようにしている	○引き続き慎重な取り扱いに努めます。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	理解、わかるということ、その人なりの思いを大切にしている 障害に応じてコミュニケーション手段の使用を工夫している	○難聴児や聴覚障害のある保護者などには、手話や筆談などわかりやすい手段で対応します。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	訪問時期など、必要性に合わせて対応している 必要に応じて電話でも連携をとっている	○引き続き電話などでも対応できる体制を整えます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	訪問時に話し、その後書面で確認している 子どもの様子や連携後の経過を聞くように心がけている	○書面での確認の他、必要に応じて電話などでも直接連携できるようにします。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	書面で確認し、対面で説明も行っている	○今後も引き続き、訪問後に報告記録を作成し、保護者とも共有します。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	自覚をしっかりとつようになっている	○引き続き慎重な取扱いに努めます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	できるだけ、思いを共有しながら進めている	○日頃から連携をとりやすい関係作りに努め、必要な時に適宜相談対応できるようにします。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		○基本的には訪問先で対応となるため、非常時には訪問先の体制や指示に従います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	地震などの対策はまだ不十分だと感じる	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	その都度、確認している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年間で研修計画を立て、全職員で実施している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	職員間で共有するとともに、保護者にも説明をして同意を得るようにしている	